地域包括ケアの地区展開　令和８年度　用賀　地区アセスメント

人口

面積（ｋ㎡）	人口（人）	人口密度（人/ｋ㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率(%)	年少人口（人）	年少人口率(%)	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率(%)	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率(%)	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
2.472	37,716	15,257	7,767	20.59%	4,364	11.57%	19,981	1.89	5,783	2,781	1,481	1,521	28.94%	21.33%	1,562	20.11%	748	177	207	137

傾向

世田谷区全体と比較すると、用賀地区は年少人口率が高く、高齢化率は低い。
町丁目ごとに見ると、上用賀２丁目は特に高齢化率が高く、用賀1丁目が低くなっている。
出張相談会などを通して地区課題の把握に努めるとともに、見守りネットワークづくりに取り組んでいる。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容
			サロン	子育てサロン	ミニデイ								
4	6,605	18	16	2	0		7	14	70	12	3		「地域ケア会議Ａ・Ｂ・Ｃ」（あんすこ・介護予防・地域支援課・福祉事業者・まちセン他） 「スペース２０２０」（社協・地区サポーター・あんすこ・ぽーとたまがわ） 「ちょこグリＬＡＢＯ」（住民有志メンバー・社協・まちセン・あんすこ） ～誰でも通うことができる居場所づくり～ 「出張相談会」（あんすこ・社協事務局・まちセン） 「用賀地区子ども子育てネットワーク検討会」（地区社協・主任児童委員・児童館・世田谷区地域子育て支援コーディネーター・区立保育園・おでかけひろば・子育てサロン・子ども食堂） 「上用賀茶房（認知症カフェ）」（区営アパート自治会・通所介護事業・あんすこ） 「終活漫才カフェ（認知症カフェ）」（司法書士事務所・居宅介護支援事業所・あんすこ） 「ほっとカフェ用賀（認知症カフェ）」（大型喫茶チェーン店・あんすこ） 「こもれびサロン（地域デイサービス）」（地域住民・あんすこ） 「ミナ・スマイル（地域デイサービス）」（地域住民・あんすこ） 「家族介護者のつどい」（地域住民・上用賀4丁目の住宅型有料老人ホーム・あんすこ） 「ボッチャ交流会」（介護付き有料老人ホーム・あんすこ） 「健康麻雀交流会」（介護付き有料老人ホーム・あんすこ） 「囲碁・将棋・麻雀同好会」（区営アパート自治会・通所介護事業所・居宅介護支援事業所・あんすこほか）

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		障害者・児　通所系・共同生活援助等
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護	
1	0	0	0	2	2	1	1	1	0	0	13	9	さわやかはーとあーす世田谷（知的・精神・身体/就労移行支援、就労継続支援B型、知的/グループホーム） 世田谷区立障害者休養ホームひまわり荘（身体・知的・精神・児童） 就労支援施設ゆに（UNI）（発達/就労移行支援、就労継続支援B型、自立訓練・生活訓練） Do-will（身体/就労移行支援、就労定着支援） 用賀福祉作業所（知的障害者/就労継続支援B型） T&E企画（知的・精神/就労移行支援、就労定着支援） スタジオそら用賀（児童/児童発達支援、放課後等デイサービス） ウイング用賀（児童/放課後等デイサービス） まんまる（医療型特定短期入所） 重症心身障害サポート『ぽれぽれ』（日中ショート） パパゲーノWork & Recovery用賀（就労継続支援B型） ウィズ・ユー世田谷用賀（児童発達支援・放課後等デイサービス）

障害相談支援機関・相談支援事業所

そうだんや用賀（指定特定相談支援事業所）、発達障害者就労支援センターゆに（UNI）相談支援事業所（指定特定相談支援事業所）、障害者就労支援センターゆに（UNI）（発達障害者/就労相談・就労定着支援）
玉川地域相談支援：地域障害者相談支援センターぽーとたまがわ（中町）

医療

医療機関、訪問看護等

①総合病院：関東中央病院
②クリニックや訪問診療など：世田谷用賀クリニック、用賀アーバンクリニック、内科後藤クリニック、松尾内科クリニック、上用賀世田谷通りクリニック、なおこ皮膚科、まきのクリニック、たてき内科、中川整形外科、リッキー整形外科、滝本医院、ようが脳神経外科、二本松内科・循環器・歯科クリニック、あきら内科、用賀レディスクリニック、用賀クリニック、さとう耳鼻咽喉科、荏原医院、イリス訪問診療クリニック、ニコタマ大腸・肛門クリニック、用賀眼科、用賀砧公園はるかぜ呼吸器内科クリニック、ひとみ眼科、馬事公苑クリニック、オーパスワンクリニック、佐藤診療所、小板橋内科、用賀メンタルクリニック、メンタルウェルビーイングCL用賀、用賀整形外科CL、用賀いらかみち皮膚科・形成外科、あのねコドモくりにっく、用賀皮膚科、用賀きくち内科 肝臓・内視鏡クリニック、用賀内科・消化器内視鏡クリニック、世田谷血管クリニック、用賀けやき内科、キャップスクリニック用賀
③歯科：中野歯科医院、さくら歯科、はる歯科室、あわや歯科医院、こじま歯科クリニック、ゆずる葉歯科、ふくだ歯科クリニック、飯田歯科医院、小野デンタルオフィス、まい歯科医院、高橋歯科醫院、ＯＳ．ＯＭ齊藤歯科医院、冨塚歯科医院、島貫歯科医院、あきば歯科、用賀ライオンズ歯科、用賀駅東口歯科、SBS歯科・矯正歯科、長岡歯科
④薬局：ココカラファイン薬局用賀駅前、ココカラファイン薬局用賀東口店、ココカラファイン薬局関東中央病院前、ユニスマイル用賀三丁目薬局、スクエア薬局用賀、わこう薬局、プロムナード薬局、菊池薬局用賀店、のぞみ薬局、成川薬局用賀店、日本調剤薬局用賀駅前薬局、ハート薬局用賀店、いちご薬局、アイセイハート薬局用賀店、それいゆ薬局用賀駅前店

子ども・教育	児童館	上用賀児童館、玉川台児童館
	その他、児童施設	
	おでかけひろば	ぐるりんの森
	保育施設	区立保育園：上用賀保育園、ふじみ保育園、用賀保育園、用賀保育園分園 私立保育園：いいほいくえん用賀分園、上用賀青い空保育園、上用賀青い空保育園分園森の家、さくらの木保育園、馬事公苑ひかり保育園、用賀なのはな保育園、用賀みこころ保育園、用賀ルンビニ保育園 認証保育所：ナーサリールームベリーベアー用賀、まなびの森保育園用賀プチ・クレイシュ
	幼稚園	
	新ＢＯＰ	京西小新ＢＯＰ、桜町小新ＢＯＰ、用賀小新ＢＯＰ
	地区内に所在する小学校等または関係のある小学校等	区立小学校等：京西小学校、桜町小学校、用賀小学校、瀬田小学校（地区内に一部学区域）、清泉インターナショナル学園
	地区内に所在する中学校等または関係のある中学校等	区立中学校：用賀中学校、瀬田中学校（地区内に一部学区域） 私立中学校等：三田国際科学学園中学校、清泉インターナショナル学園
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	都立高校：桜町高校 私立高校等：三田国際科学学園高校、駒澤大学高校、清泉インターナショナル学園 私立大学：東京農業大学（「食と農」の博物館）
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂など おむすび子ども食堂（第1・3火曜日開催）、マザーズキッチン チルドレンズ・カフェ（第1・3月、第1・3火曜日開催）、 馬事公苑リナト子どもレストラン（最終週の月曜開催）、SOMPO流子ども食堂(第4土曜日開催)、いいほいくえん食堂(第4土曜日開催)、 上用賀子ども食堂そら豆(第１火、第３月曜開催) 学び舎トーカ用賀中町キャンパス（フリースクール）	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	①地区内資源：日本体育大学医療専門学校（筋力アップ教室や運動教室開催など介護予防支援）、ひまわり荘（障害者休養ホーム）、障害者就労支援センターゆに（発達）、シルバー人材センター ②地区外資源：リンク（世田谷区ひきこもり相談窓口）、玉川ボランティアビューロー（傾聴ボランティア導入支援やアルコール依存当事者の後方支援〔当事者の会参加など〕）、玉川警察署（免許返納関連支援、虐待事案など困難ケースを連携して支援）、認知症在宅生活サポートセンター（認知症当事者や家族への支援など）、世田谷区スポーツ振興財団（介護予防教室やボッチャ教室主催など）、東京都都民安全推進本部（交通安全講習講座主催、免許返納相談支援など）、ソフトバンク株式会社（世田谷区から受託受けスマホ講座無料開催など）、成年後見センター（成年後見人支援）、終活支援センター（総合相談・高齢者終身サポート）、メルクマールせたがや（若者総合支援）、ぷらっとホーム世田谷（生活困窮者への支援など）、グリーフサポートせたがや（グリーフケア支援）	
公共施設	図書舘	玉川台図書館
	地区会館、区民集会所など	用賀地区会館、用賀区民集会所、玉川台区民センター、上用賀アートホール
	その他	玉川警察署馬事公苑前駐在所、玉川警察署用賀交番、玉川消防署用賀出張所 まちづくりセンター、用賀出張所、エコプラザ用賀、タンザニア大使館、 エフエム世田谷、用賀あんしんすこやかセンター

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	上用賀公園、用賀くすのき公園、用賀プロムナード（いらか道）、けやき広場、用賀高架下広場

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

上用賀１～６丁目、用賀１～４丁目、玉川台１～２丁目からなり、面積は２．４７２㎢と区内で９番目に大きい地区である。
地区の大半は住宅地で、道路は碁盤の目のように整備されている。
馬事公苑やけやき広場、隣接した地区には砧公園や世田谷美術館があり、良好な住環境であるといえる。
一部暗渠となっているが、多摩川水系の一級河川谷沢川が地区を流れている。豪雨対策として、谷沢川分水路の整備が進められている。
上用賀公園（上用賀４－３２－３２）の拡張事業では、スポーツ・防災拠点としての機能、既存樹林地の保全と地域の雨水流出抑制などグリーンインフラの視点を併せ持つ公園としての整備を進めている。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

北を世田谷通り、西を環八通り（環状八号線）、南を玉川通り（国道２４６号線）が伸びている。
地区の中央に東急田園都市線用賀駅があり、駅を中心にして大山街道の南北に用賀商店街が広がっている。
地区を縦に伸びる西用賀通りには「美術館」、「関東中央病院」行き、用賀中町通りには「祖師ヶ谷大蔵駅」、「成城学園前駅」、「渋谷駅」行きのバスが運行している。
上用賀６丁目と用賀１丁目（一部）にゾーン３０が導入されている。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

管内の中心南側に位置する用賀駅周辺は、大山街道、玉川電機鉄道の沿線として古くから賑わっていた。現在も商店街やスーパーマーケットのほか民間の再開発により「世田谷ビジネススクエア（ＧＭＯインターネットＴＯＷＥＲ）」がランドマークとなっており、商業施設が集約されたビジネス街の様相を呈している。
用賀駅に隣接する用賀くすのき公園では、用賀商店街振興組合等によるようが夏まつりなどのイベントも開催され、地区のコミュニティ醸成に貢献している。
用賀くすのき公園から世田谷美術館に向かう「いらか道（用賀プロムナード）」も、用賀地区の貴重な文化資源の一つである。
地区内には、公衆浴場が２軒（栄湯、藤の湯）ある。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
みどりの多い、支えあい・助け合いのある心豊かで安全なまちをめざして

課題、取組みの方向性
1. 公園、緑地や公共施設、また、いらか道といった交流に活かせる場所、玉川台区民センター運営協議会やＹＣＣのような地域交流・地域活動団体、元気高齢者や特定の分野に長けた人材は存在するものの、子育て世帯への支援や高齢福祉といった多様化するニーズに対し、十分に結びつきが活用されていない。 ⇒困りごとを聴き取る工夫をし、機会を増やすことで、多様化するニーズを把握する。また、聴き取った困りごとと、既存の場所や元気高齢者といった地区内の社会資源をマッチングさせるため、座談会を開催し、交流・意見交換・情報交換・情報共有の場づくりに取り組む。
2. 地区活動への参加者が固定化しており、新規参加者が気軽に参加できる居場所（空間・参加者の役割）が不足している。 ⇒既存の連携事業の中で、自由に参加できる多世代交流のイベントを行うことで、立場や世代を超えた交流を継続し促進する。
3. 四者の役割・サービスについての発信が不十分である。 ⇒地区の広報誌「ささえあい通信」の配布により連携事業の紹介やイベントのＰＲに力を入れるほか、デジタルサイネージ等ＤＸの取組みを活用し、地域のお祭り等のイベントで啓発物品を配付することで「福祉の相談窓口」や地域包括ケアの用賀地区における展開について、周知を図る。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	地区での暮らしに関する困りごと等の相談　出張相談会：アパート等で住民の困りごとを聴き取り、担当機関につなぐ取組み。
②	誰もが通うことのできる居場所づくり　ちょこグリＬＡＢＯ：植栽を通して、地域住民の活動機会を作り、交流を促す取組み。
③	誰もが通うことのできる居場所づくり　スペース２０２０：独居高齢者や認知症の方、障害のある方等どなたでも参加のできる居場所をつくり、地域参加を目指す取組み。
④	介護予防などの健康づくり　健康貯金スタンプラリー：地区内施設を巡りスタンプを押すことで、健康づくりや外出促進を図る取組み。
⑤	地区資源の活用、地区課題の洗い出し　四者連携会議による地区課題への取組み：地区課題及び地区資源の洗い出しや、地区課題解決に向けた取り組みとして、「チームささえあい用賀座談会」（ボランティア経験者向け・未経験者向け）を実施している。
⑥	地区資源の活用、地区課題の洗い出し　地域ケア会議：関係機関と具体的な困難課題の検討を行い、協働して地区課題解決に取り組んでいる。
⑦	地区資源の活用、地区課題の洗い出し　用賀地区子ども子育てネットワーク検討会：関係機関及び支援団体と協働し、子育てや子ども関係の情報共有、課題を検討している。子育てファミリーのリフレッシュDayの開催（年２回）
⑧	「福祉の相談窓口」の周知活動　「ささえあい通信」の発行：年３回広報誌を発行し、連携事業の紹介やイベントのＰＲを行っている。令和８年度は、京西小学校５年生と連携し、福祉の相談窓口の周知に取り組んでいる。